

東京都行政書士会八王子支部
令和4年度 第5回 理事役員会議事録

日 時 令和5年3月11日(土) 9:49~11:54

場 所 由井市民センターみなみ野分館 会議室2、3

出席者 支 部 長 中塚良二

副支部長 上田高弘、藤沼隆志、佐々木正彦、西田聡、岡本ふみ

理 事 林和久、保田学、長岡俊行、井上悦男、松浦千加、林敬信、

金澤朋幸、箕輪博行、渡邊かおる、一柳仁志、松浦礼子、

岡本香里、上條友美子、田中真理子

オブザーバー 政治連盟支部長 塚本富男

監事 秋葉理人、中村次良

相談役 本山末夫、増田善和

欠席者 理 事 野寫孝文、池田智

オブザーバー 政治連盟副支部長 犀川美佐緒

相談役 豊泉博之

定足数 出席すべき理事の数 22名

出席した理事の数 20名 (開始時出席者数 19名)

*よって、支部細則第17条第2項により、本理事役員会は適法に成立

資 料 令和5年度 東京都行政書士会八王子支部 第5回理事役員会資料 (事前配信)



1、開会の挨拶

中塚支部長より、開会の挨拶がなされた。

2、定足数の確認

中塚支部長より、上記のとおり定足数に足る理事役員の出席が確認された。

3、議事録作成者、署名人の選出

議事録作成者、議事録署名人について以下の者が選出された。

議事録作成者：岡本ふみ 議事録署名人：箕輪博行理事、田中真理子理事



4、前回、前々回の理事会の議事録の確認

中塚支部長より、各自、前回、前々回の議事録の確認が依頼された。

5、東京会関連及び支部長からの連絡事項 (支部長中塚良二)

中塚支部長より、以下の連絡事項がなされた。

①職務上請求書の使用に関する不祥事が散見され、総務省からの指導もあり、現在の倫理研修が新しい研修制度に変更される。また、郵送物が届かない等の実態が不明な会員も増加していることもあり、法改正によってできた注意勧告権を行使し、会員の

管理を強化していく方向。事務所の実態の把握は、支部会費の滞納防止にも繋がると期待される。注意勧告権については、具体的なことは検討中なので、実際に動き出すのは、再来年度くらいと見込まれる。

以上の説明が中塚支部長よりなされ、これに対し、本山相談役より、職務上請求書の1冊のページ数を少なくすると、東京会でのチェック作業が楽になるのではないかと意見がなされた。

また、増田相談役からは、事務所の実態調査を進めるべきとの意見がなされ、これに対し、中塚支部長より、東京会の総務部の業務の見直しも含め、組織変更を検討中、東京会が有する会員の個人情報の共有も含め今後の検討課題との説明がなされた。また、藤沼副支部長より、現在の倫理研修は、日行連が実施する研修へと変更され、東京会では、人権研修が行われ、この2つの研修受講が職務上請求書交付申請の要件となる見込みとの補足がなされた。

②災害対策の意識が高まっており、東京会と支部、また支部間での、連携協定の締結が進められているが、内容が明確になっていないので、当支部としてはまだ未署名、締結する際には、総会での審議事項としたい。

以上の説明が中塚支部長よりなされ、これに対し、本山相談役より、連携協定の目的について質問がなされ、中塚支部長より、助け合いとの説明がなされた。

③日野市役所へのネームプレート掲示について、4月上旬までに両支部長で日野市に要望書を提出予定で、来期の事業計画、予算には計上予定とのこと。

6 議事（進行の都合で審議事項から）

②記念品贈呈の事業計画ならびに収支予算（総務部）

資料のとおり説明がなされ、さらに、中塚支部長より、会員死亡の場合、支部への連絡が遅くなることが多いので、届出の書式等の作成を今後の検討課題としたいとの補足がなされた。

これに対し、本山相談役より、支部での対応は、東京会からの連絡後が良いのではないかと意見がなされた。

➡異議なく承認

③支部総会の事業計画ならびに収支予算（総務部）

資料のとおり説明がなされた。

➡事業計画については、異議なく承認。

予算については、令和5年度予算案についての議題で審議。

⑦5月古本まつり街頭無料相談会の事業計画ならびに収支予算（広報部）

資料のとおり説明がなされ、新年度の事業なので、今回は出展についての審議で詳細は、次年度の広報部に一任されたいとの補足意見がなされた。

➡異議なく承認

⑧選挙管理委員の選任について（支部長）

委員について、支部長が指名することについて、異議が出なかったため、支部長より林和久理事、松浦礼子理事、箕輪博行理事が指名された。

➡異議なく承認

【令和4年度収支計算書・事業報告・資産負債内訳書について】

各部より項番ごとに説明がなされた。

1, 2, 3, 4 収入（会計）

会費収入は、未納分も含め計上。交付金は、3月中に入金予定の金額。雑収入は、他支部会員の研修参加費等。

10 賀詞交歓会（総務部）

エルシィの会場費、食事代の高騰のため、予算額を超過。

11 新会員支援事業（総務部）

新入会員オリエンテーションで懇親会未開催のため、補助費分が予算額より下回る。

12 市民無料相談事業（業務管理部）

会議をオンラインでの開催としたこと、相談員研修を1回にしたこと、また、八王子市総合相談が来年度に延期になったことから、予算額を下回る。

13 会員支援事業（総務部）

サーバー代がSSL証明を追加したため、予算額を超過。

14 実務応答者事業（業務管理部）

会議をオンラインでの開催としたため、予算額を下回る。

15 研修・業務開発事業（研修部）

東京たま未来メッセの利用で会場費は高騰したが、1回目の研修会がワイズ公共データシステムに無料研修を依頼したため、予算額を下回る。

16 会員福利厚生事業（厚生部）

コロナの影響で事業ができなかったため、予算額を下回る。

17, 18 支部広報事業、広報月間事業（広報部）

広報誌の発行が1回のみだったこと、ひの産業まつりが中止となったこと、八王子の街頭無料相談会の相談員が少なくなったことから、予算額を下回る。

19 暴力団等対策事業（暴対委員会）

研修は、コロナのため、警察署への講師依頼はせず、資料の提供のみとしたことと、日野警察署から武道始式への案内がなかったため、予算額を下回る。

20 法教育事業（法教育委員会）

21 空家対策事業（空家対策委員会）

ともに活動がなく、予算額を下回る。

22 災害時対応等事業（災害時対応委員会）

防災訓練への参加が計画より少なかったため、予算額を下回る。

30 定時総会（総務部）

議案書の印刷代が計画より少なかったため、予算額を下回る。

31 理事会費（総務部）

日当、会議室使用料が計画より少なかったため、予算額を下回る。

32 管理費等（会計）

通信費は、書類のやり取りでレターパックを利用したこと、渉外費は他土業の行事等も活発になってきたことから、予算額を超過。

以上の説明に対し、藤沼副支部長より、議事録作成費が0円であることについての質問があり、西田副支部長より、理事会等、定時総会の項目に含まれているとの説明がなされた。→令和5年度の収支予算書からは、議事録作成費、八王子市外国人相談、印刷・製本費の項目の削除が承認された。

【資産負債内訳書】（会計）

未払費用は、市民相談の日当、退会者への記念品、定時総会に関する総務部の日当等、4月に支出する今期分の費用。（理事等の日当は3月15日に振込予定）

未収支部会費は、督促をしたので年度内に入金があれば修正。会員権停止中の会員の会費未納分は、未収支部会費には含まれていない。

以上の説明が西田副支部長よりなされ、それに対し、本山相談役より、未収支部会費の未納者の人数について質問があり、西田副支部長より、45名は延べ人数ではなく、実人数との回答がなされた。また、本山相談役より、東京会と連携して未納者への請求、また入会者には支部から挨拶に行き会費の案内を行うなどの提案がなされた。秋葉監事より、東京会の納入促進委員会では、実態が不明な会員については、住民票の取得も行い、訴訟となっている案件もあるとの説明がなされた。

中村監事より、時効についての質問がなされ、西田副支部長より、滞納期間は、ほぼ1、2年との回答がなされた。

中塚支部長より、支部会費は未納でも、東京会の会費は完納の会員もいること、東京会としても、支部会費の未納について重要視しており、申込の際に支部会費の完納を要件とする事業も増えてきているとの補足がなされた。

西田副支部長より、東京会のように、支部内に納入促進委員会のような組織を置くこと、会計の組織化が今後の検討課題であるとの意見がなされた。

【令和5年度収支予算書・事業計画について】

各部より項番ごとに説明がなされた。

1, 2, 3, 4 収入（会計）

会費収入は会員240名で試算、その他交付金も見込額で策定。

10 賀詞交歓会（総務部）

芸者代、エルシィの会場費、食事代の高騰も加味し策定。

11 新会員支援事業（総務部）

新入会員オリエンテーションの会場費（東京たま未来メッセ）、懇親会の補助費分を

加味し策定。

12 市民無料相談事業（業務管理部）

協力部員を増員、八王子市の市民相談は50回、八王子市総合相談を2回として策定。

13 会員支援事業（総務部）

日野市役所のネームプレート設置分も加算し策定。

14 実務応答者事業（業務管理部）

前年度とほぼ同額。

15 研修・業務開発事業（研修部）

研修会を5回実施するとして試算、協力部員を増員、会場費の高騰も加味し策定。

16 会員福利厚生事業（厚生部）

旅行、家族参加型事業等、コロナ前と同様の事業を実施する計画で策定。

17, 18 支部広報事業、広報月間事業（広報部）

町自連広告1回分、ほか新たな広報活動を実施、相談会でのグッズ配布を加味し策定。

19 暴力団等対策事業（暴対委員会）

警察署への研修の講師依頼、4署の武道始式への参加を加味し策定。

20 法教育事業（法教育委員会）

パンフレットの作成等も計画し策定。

21 空家対策事業（空家対策委員会）

コロナ前と同じ規模の計画で策定。

22 災害時対応等事業（災害時対応委員会）

防災訓練への参加を計画し策定。

30 定時総会（総務部）

議案書の印刷代の増加、コンパニオン代の加算、会場費の高騰を加味し策定。

31 理事会費（総務部）

会場費を加算し策定。

32 管理費等（会計）

渉外費は他土業の行事等への参加費の増加を加味し策定。

以上の説明に対し、本山相談役より、暴力団等対策研修において、警察署の指導の下実際の暴力団等と対峙することになった時のシミュレーション（対応方法、他の会員の同席の有無等）を行うことの提案がなされ、上條理事より、事務所内の避難通路をあらかじめ確認しておくことも有効との意見もなされた。これを受け、西田委員より、今後の研修の参考とする回答がなされた。

長岡理事より、予算0円の項目の削除の提案があり、令和5年度の収支予算書からは、議事録作成費、八王子市外国人相談、印刷・製本費の項目の削除が承認された。

長岡理事より、研修と業務開発に分けていることへの質問があり、藤沼副支部長より、業務開発としての研修も行っており、今後の活動も見越して内訳の項目としては残すとの回答がなされた。

中塚支部長より、令和4年度決算案では約76万円の繰越金に対し、令和5年度予算案では約60万円の不足となっていることについて、ここ3年間はコロナのため活動を縮小してきたため、繰越金もあったが、来年度はコロナ前と同様の事業規模で計画をしていること、会場費等の高騰を加味した予算案となっている旨の補足がなされた。

➡事業報告・収支計算書・資産負債内訳書、事業計画・収支予算書については異議なく承認。

西田副支部長より、決算については流動的な面があるため、3月31日に確定した内容で書面決議を行ったのち、監査を行うという説明がなされた。

報告事項については、各自、議案の確認が依頼された。

7 政治連盟からの報告事項

なし

8 ヒルフェ八王子地区からの報告事項

なし

9 その他

なし

中塚支部長より、以上をもって本日の議案審議事項が終了したことが述べられ、閉会が宣言された。

以上、この議事録が正確であることを証します。

令和5年3月11日

支部長

中塚良二



議事録署名人

箕輪博行



議事録署名人

田中真理子



議事録作成者：岡本ふみ